

【特集】

- 1・2月学校行事~ドローン授業(6年生)と6年生を送る会
- 2・アクティの活動について

【PTA 本部よりご連絡】

^^

関口台町小学校の保護者の皆様、日頃 PTA の活動にご協力頂きまして、誠にありがとうございます。

残すところ春休みまであとわずかとなりました。緊急事態宣言下での様々な外出・移動の制限やイベントの中止等が続いておりますが、皆さま新しい年度へ向けラストスパートをかけ、お忙しい日々を過ごされているかと存じます。次の学年につながる有意義な一ヶ月となりますよう、PTA 本部役員一同心より願いつつ、新年度へ向けた準備を日々進めております。

本レターのお知らせにもありますが、年度末総会の書面決議に関し、皆さまのご回答誠にありがとうございます。決議のご報告は後日改めて配信いたしますが、コロナウィルス感染拡大防止とそれに伴う様々な取り組み等、これまでにない1年間を乗り越え、4月より今年度の活動をベースに新たな体制にて令和3年度をスタートいたします。

今年度よりスタートいたしました月々のニュースレターもこれで第10号の発行となりました。引き続きオンラインのコミュニケーションを中心に、関口台町小学校の児童の皆さまの健やかな成長の為に、校長先生・副校長先生をはじめとする教職員の方々と協働しながら活動を進めてまいりたいと思っております。なにとぞよろしくお願い申し上げます。

**特集1. 2月学校行事『6年生 ドローン授業』**

2月18日木曜日、6年生の特別授業としてFPV Robotics 社主催の『ドローンインパクトチャレンジエデュケーション』が行われました。1・2時間目に1組、3・4時間目に2組が体験。PTA では2組の様子を取材しました。

＜授業概要＞

- 1時間目 体育館にて
  - ・座学 ドローンとは何？
- 2時間目 体育館にて
  - ・ドローンを動かしてみよう
    1. プログラム飛行操縦（チーム戦でプログラミングを組み、指定の障害物を指定のルートで飛ばす）
    2. マニュアル飛行操縦
    3. 結果発表
  - ・みんなで記念撮影



主催者様にお話を伺いました！

質問 1) 子供たちはとても楽しそうに操縦していますが、座学中の子供たちの様子はいかがでしたか？

イギリスの Amazon による輸送実験やレディーガガがスーパーボウルで見せたドローンライトショーなど、すでに様々な分野で活用されているドローンの様子や、将来的にアプリで、屋上にドローン技術による空飛ぶ車と呼んで空港に移動するなど空の移動革命が始まっていることなどを、映像を多く交えて紹介しました。映像があることで、集中して飽きずに見てくれました。

質問2) ドローンのどのような点が優れているのですか？

- ・垂直離発着ができるので発着場所を選ばない
- ・エンジンではなく、モーターのみのため  
ヘリコプターより静か
- ・羽がヘリコプターに比べ多いので一つ二つ  
壊れても落ちづらい安全性
- ・プログラミングすることで一斉に動かすことが可能



質問3) この活動を会社としてかなり力を入れて取り組まれている目的とは？

空の産業は戦後、日本では全てストップしました。ドローンのような新しい移動手段が出現することで日本の空の産業も大きなチャンスがこれからは生まれてくると思います。ドローンの便利さを伝えつつ、そのための自動操縦、遠隔飛行操縦など新しい技術を見てもらい、『空の産業革命』を担う人材が生まれたら、社会がより良くなっていくと思い活動しています。また、もっと手前のところでは、プログラミングの仕方を学ぶだけでなく、ロジカルに考えること、チームワークの重要性なども学んでほしいと思います。事業目線で言うと、プログラミングは意外と上手い出来ないことが多いのです。でも、チームで試行錯誤、トライアンドエラーを繰り返す事で失敗しても改善されて達成されていく、そんなことが伝わったらと思っています。

最新技術のドローンを見て、触って、プログラミングして、操縦して、子供たちは本当にキラキラした目で授業に参加していました。終わった後の感想でも『もう終わり？もっとやりたい！』『4時間くらいしてほしい』など興奮冷めやらぬ様子。周りをデジタルに囲まれた子供たちですが、ただ便利に使うだけではなく、テーマに挑戦し、失敗してもトライし続け成功した時の楽しさ、それをチームで分かち合う今回の授業は、新しい技術をより良い社会へといかに繋げていくか、技術との向き合い方を考えさせられる貴重な原体験になったのではないかと思います。(取材 梶井)

主催されている会社

『株式会社 FPV Robotics』 <https://fpvrobotics.com/about/>



## 特集1. 2月学校行事『6年生を送る会』

2月26日(金)に6年生を送る会とお別れ関台キッズが行われました。今年はコロナ禍での開催でしたので例年とは大きく異なる形態となりました。

### 6年生を送る会(8:40~9:20)

1. 始めの言葉 5年生代表者
2. 出し物

- ・ 1年生 お礼の群読と手作りメダル授与
- ・ 2年生 お礼の言葉と手話による歌の披露
- ・ 3年生 6年生とチェッコリダンス対決
- ・ 4年生 6年生にニュース形式でクイズとお礼の言葉
- ・ 5年生 6年生の活動を漫才(MB風)と劇で披露
- ・ 6年生 SEKAI NO OWARI『RPG』をクラスごとに演奏

3. 校旗と国旗の引き継ぎ

4. 校長先生のお話

コロナ禍でもお別れ会を開催できたことに関してのお礼と6年生が1年間、国旗と校旗を欠かさず掲揚してくれたことや関台キッズでリーダーとして活躍してくれたこと等をお話しされました。

5. 終わりの言葉 5年生代表者



### お別れ関台キッズ(12:45~13:25)

- ・ 関台キッズ活動

関台キッズは1年生~6年生の縦割りの班ごとに分かれて活動する時間です。

今回は6年生との最後の活動となるため、5年生が中心となり6年生に楽しんでもらおうと企画しました。

お部屋の飾りつけから始まり、ゲーム、メッセージカード渡し、6年生から一言、4年生による終わりの言葉という順に行いました。

ゲームではイス取りゲームやハンカチ落とし、リーダーを探せ!、フルーツバスケットの改良版何でもバスケット、お絵かき伝言ゲーム等各班それぞれ楽しみ、時には6年生が1年生の気持ちを考えて助けてあげるなど心温まる場面も見られました。



今年はコロナ禍で多くの行事が中止になる中、校長先生はじめ諸先生方や、関台キッズで中心となった5年生の頑張りにより、6年生を送る会などの行事を無事に行えたことに感謝致します。

感染症対策も座席の配置や密集時間が少なくなるような時間配分、体育館も常に換気した状態など子供達の安全にもご配慮があり、安心・安全に6年生を送るための行事を終えられました。

(取材 伊藤)

